

この度、官民学連携のもと、伊予市の新たな魅力を発見し、発信する『ヨソモノ視点からの魅力発見』という伊予市の『ヨソモノ』という伊予市の対象地域として選ばれました。そこで、この事業の実行部隊である愛媛大学の学生の皆さんにこれまでの活動の感想等を本紙に寄せて頂きました。

ヨソモノ視点からみた三秋

(文責) 愛媛大学2回生
青木、伊藤、國村、吉弘



三秋地区内を散策

○実際に活動してみても三秋地区で活動するにあたって様々な場所に訪れました。都会で育ったメンバーもいるため三秋地区にある畑、森、竹林などの農家にとっては当たり前の農業風景が私たちが訪れると、とても素敵で美しいものだと感じました。三秋地区の中にある神社にも訪れましたが、普段では味わうことが出来ない雰囲気を感じ、普通に生きている昆虫や蛇までも三秋地区の魅力として感じました。私たちが活動するにあたって農家の方からレンコンや里芋を頂く機会があり嬉しかったです。家に

帰り調理して食べたのですが、とれたて新鮮でとてもおいしく頂きました。ありがとうございました。その一方で活動する中で三秋地区の方の交通の手段や、近くにスーパーがないことから、生活に何らかの不便があるのではないのかと疑問に感じました。しかし、スーパーやコンビニがなく、周りが自然にあふれているところが三秋地区の魅力だと感じました。



PR動画の撮影

三秋地区の印象

私たちが初めて三秋地区に訪れた時、かなり山の奥地にあるので驚きました。辺り一面が豊かな自然が広がり、初めて身体全体で自然を感じた気がしました。

三秋地区に足を運ぶ度に新たな発見がありました。特に驚いたのが市指定文化財である左衛門のお墓です。調べてみると左衛門は鉄砲撃ちの名人であり、ヒビから住民を守った偉人であることが判明しました。そんな三秋地区の偉人の墓が私たちが訪れた時、かなり劣化が進んでいる事に驚きました。伊予市のHPに載っている写真とは全くの別物で、周りには草木が

生い茂っていました。今回の三秋地区の散策に当たって感じたのは、左衛門の墓の様な文化財をどう後世に残していくかです。三秋地区には足を運ぶ度になにこれ！と魅せられるものがあります。三秋地区の関係人口を増やし、広く認知してもらう事が大切になってきますし、そのお手伝いを私たち愛媛大学生がヨソモノ視点から全力で考えていければと思います。



地域住民へのインタビュー

三秋地区のここ注目しています！

三秋地区に初めて来た私たちの「よそ者の視点」を活かしながら、三秋の新たな魅力発見のために活動していただきます。まず、私たちが注目したものは三秋地区の景観です。青い空に自然豊かな山や木の緑、秋には黄金色の稲穂が揺らめき彼岸花の赤が映える四季折々の自然が繰り出す様々な色が三秋地区の魅力を引き立てています。アニメの世界に入り込んだかのような竹藪、道の中にぽつんと置かれたポスト、神秘的な雰囲気醸し出した神社など、三秋地区に広がる風景一つ一つが絵になるほど美しいです。また、三秋のみなさんの温かさ

森林古道の整備

(文責) 玉井 敬信



安全講習と古道整備の様子

電子基準点

(GPS観測局)
(文責) 日山 貞治



電子基準点の下にあるプレート

三秋大原コミュニティ施設(三秋集会所)内の片隅に、マツチ棒を立てたような細長い施設があります。これは、建設省(現国土交通省)の国土地理院が、1999年(平成8年)3月に設置した電子基準点です。

電子基準点は、測量関係の施設で、全国に1300基ほど設置されています。地上約2万kmの高さを周回するGPS衛星が発信する電波を施設上部の白い部分の中に入っている受信アンテナで受信し、この地点の位置を正確に観測しています。このデータは、土地の測量、地図の作成、地震、火山噴火予知の基礎資料として利用されます。ちなみに、三秋集会所の標高(海拔)は、50m80cmです。

ツバメの旅立ち

(文責) 稲多 勝利
※令和2年7月末執筆



ツバメたちが巣立ちした跡

朝起きると、家の前の電線にツバメがチュウチュウと鳴きながら飛び回っていました。4、5羽いました。1、2週間前に私の家のツバメの巣から、5羽の子もツバメが巣立ちして飛び立っていました。また巣作りに来たのかなと思って眺めていたが、やがて居なくなりま

私の家では、今年2回ツバメが巣立っていきました。1回目5羽、2回目も5羽でした。私はいつもツバメが巣を作ると気を付けています。猫や蛇が食べに来たり、ヒナが巣から転落したりと、気がかりが絶えません。でも、そんな私の心配をよそに、親鳥

も魅力だと感じています。道を歩けば話しかけてくださり、レモンやミカンなどをいただいたり、コーヒーを入れて沢山お話ししてくださったりと、地元の方々の温かい触れ合いは、三秋地区でしか味わえません。私たちが「よそ者の視点」で見た三秋地区の良さが新たなポイントとなり、より多くの人に三秋地区の魅力を広められれば幸いです。

野菜倶楽部三秋をPR

(文責) 原田 浩明



町家のちよこつと夏祭り

MIKKI野菜倶楽部は、8月16日、まちづくり郡中「町家」の「ちよこつと夏祭り」、10月25日、松山市花園町の「まつやま花園日曜日」にそれぞれ参加。三秋産農産物の直売を通して、三秋地区のPRを行った。「ちよこつと夏祭り」では、キウウリの詰め放題が人気を博し、「まつやま花園日曜日」では、ブドウや里芋等の秋の味覚を販売し完売。どちらのイベントも多くのお客様が訪れ、多くの方に三秋を知って頂く良い機会となりました。これからも、MIKKI野菜倶楽部は各地の産直イベントに出没します。

心身の鍛錬

(文責) 三秋消防団班長
安井 規城



実際の訓練の様子

去る11月1日に第2分団主催の小型ポンプ操法訓練が北山崎小学校グラウンドであり、我が三秋消防団も参加し、消火技術の習得や心身の鍛錬に励みました。この小型ポンプ操法とは、下は市の大会から始まり県大会、全国大会まである消防団の一大イベントであります。4人で1組を形成し指令の元、正確な連携動作と言語伝達で、ポンプ始動から火点への放水までのタイムと動作加点を競い合う競技



まつやま花園日曜日

みあき今昔物語

(文責) 原田 浩明

今から55年前の三秋保育園運動会での一枚です。この頃は、水之明神社の境内で行っていたのです。今回の一枚は三秋在住の読者の方より提供頂きました。貴重な写真がありがとっさでした。



1965年頃の三秋保育園の運動会



現在の水之明神社境内

が落ちるのを嫌う家など、ツバメにとっては子育てに不利な環境です。でも、私はまた来年、ツバメが帰って来て私の家を忘れずに、また子育てしてくれる事を願っています。



県内へ発信！

(文責) 原田 夏子

12月1日、NHK松山の番組『ラジオまんなな』に愛媛組活躍する人にお話を聞く「ドーナナ人？」というコーナーのゲストとして、当新聞編集長が生出演しました。当新聞創刊の経緯やこれまでの取り組みについて等、番組パーソナリティの岡田留美さんの軽妙な語り口に合わせて紹介していき番組は進行。ホテル観賞会や昨年開催した明神山登山・レンコン収穫体験等のイベントについても触れ、この4年間の活動をリスナーに向けて



NHK松山放送局のスタジオにて

頼信城の千人塚伝説

(文責) 原田 浩明

12月10日、伊予市文化財専門員の島崎さん立ち合いの下、端集落に点在する五輪塔群の調査が行われた。一昨年の原中集落にあったとされる頼信城の調査と合わせ、千人塚伝説との関連はあるのか、今後の調査結果が待たれる。



小堂宇内に祀られた五輪塔